

FUJIFILM

Wako

コード No. PE-H 010-17191 (100 mL) PE-M 010-17211 (100 mL)
012-17195 (500 mL) 012-17215 (500 mL)
PE-L 013-17201 (100 mL)
015-17205 (500 mL)

消泡剤 PE-H、PE-M、PE-L

〔はじめに〕

本品は、ポリエーテル系消泡剤です。ワックス類や硫黄等を全く含んでおりませんので、濁りや析出物が発生することがありません。粘度の違いにより、PE-H (Poly-Ether-High), PE-M (Poly-Ether-Medium), PE-L (Poly-Ether-Low) の3種類があります。一般に粘度が低いほど分散性が良くなります。

〔添加量〕

細胞培養における本品の添加量は、2000 - 4000 倍希釈（1 L の培地に 0.25 mL - 0.5 mL）が適量ですが、各々の系で確認の上ご使用下さい。

〔参考データ〕

1. 消泡効果と濁りの測定

方法：小試験管に培地を 5 mL 分注し、激しく振とう後、さまざまな希釈倍率の消泡剤を添加する。添加後、10 秒、5 分、15 分と泡の高さを測定する。また、そのときの濁りも測定する。

MEM（細胞培養用培地）+ 10%FCS（ウシ胎児血清）

消泡剤添加後の泡の高さ 単位 (mm)

消泡剤	希釈倍率 時間	1×10^2	1×10^3	2×10^3	4×10^3	8×10^3	1×10^4	1×10^5	control
	時間								
PE-M	添加後 10 秒	1	1.5	3	3	3	9	25	47
	5 分	0	0	1	1	2	3	20	41
	15 分	0	0	0	0	1	1	2.5	41
	濁り	有	少々有	無	無	無	無	無	無
S 社 品	添加後 10 秒	0	1	2	4	6	11	19	40
	5 分	0	0	0	0	2	3	19	31
	15 分	0	0	0	0	1	2	17	24
	濁り	有	有	有	有	有	有	無	無

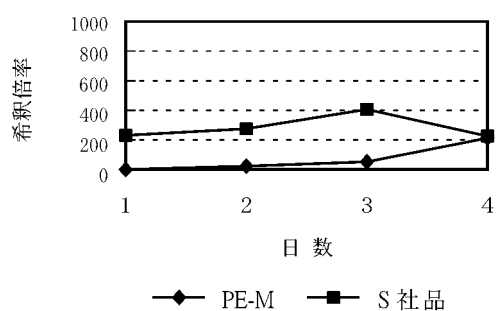
2. 細胞毒性試験

細胞毒性は非常に低く、細胞培養に十分使用できる品質を備えていますが、各々の系でご確認の上使用下さい。

細胞：Vero 細胞の subclone (O78 株)

viability の判定：Alamar Blue¹⁾

方法：Alamar Blue を添加し、LD₅₀ 値を測定する。下記のデータは LD₅₀ 値を示す時の希釈倍率と添加後の日数の関係のグラフです。希釈倍率が大きいほど細胞毒性が高いことを示しています。



〔貯 法〕 なるべく涼しい場所、遮光保存

〔参考文献〕

- 1) Pagé B., Paggé M. and Noel, C. : *Intern. J. Oncol.*, **3**, 473 (1993)

製造発売元

富士フイルム 和光純薬株式会社

大阪市中央区道修町三丁目1番2号

Tel : 06-6203-3741

1801KA1